

ゲームの映像に合わせ、立ったり座ったりを繰り返す高齢者たち―福岡市城南区の長尾病院で、徳野仁子撮影



## 九大と福岡の病院 ソフト開発

福岡市城南区の長尾病院（服部文忠院長）と九州大が、リハビリ訓練のためのテレビゲームソフトを共同開発した。単調な動きでつらいリハビリだが、ゲーム感覚の要素を取り入れ、楽しく効果的に続けられるよう工夫した専用ソフト。来春、メディア出版（大阪市）から介護施設向けに発売される予定。開発に携わった同大芸術工学研究院の松隈浩之講師は「利用者同士のコミュニケーションツールにも活用してもらいたい」と期待する。

【金秀蓮】

### 楽しさアツプ

作ごとに画面上の木がぐんぐんと伸びる。目標回数を達成すると

化したゲームを作れないか」と九大に持ちかけた。脳卒中治療にも有用でリハビリの基本とされる起立運動に着



転倒の危険性がある▽ゲームを起動するための操作が複雑など。病院のリハビリスタッフが九大開発チームが議論を重ね、一つ一つ解決していった。長尾病院による有用性の検証では、一人で起立運動した場合が軽減し、利用者向きあう時間が増えてほしい」と説明。長尾病院の理学療法士、川崎桂さんも「軽快に音頭を取ってもらえるので、利用者も楽しく取り組んでいる。ディスプレイなどリハビリの専門スタッフが少ないところでぜひ使ってほしい」と話している。

# ゲームでリハビリ

「立って座って、高年齢者が、起立―着席立って座って」。10月中旬、長尾病院の通所リハビリテーションをめぐった。

「ゴール!」の文字が表れ、利用者は額の汗をぬぐった。

### 効果もアツプ

開発が始まったのは2年前。長尾病院では大手ゲームメーカーのソフトをリハビリに取

目し、コンテンツの制が2割以上増えたという。開発当初は問題もあ

た。画面の前では手すりの動きをカメラセンサーがとらえ、1回の動きを感知する足元の板で

の声や音楽が励みになる。御厨那朗さん(78)も「リズムがうまくとれるのでやりやすい。筋力がつきました」とうれしそうだ。

リハビリ効果のメリツトだけでなく、松隈講師は「ゲームを使うことでスタッフの仕事が軽減し、利用者向きあう時間が増えてほしい」と説明。長尾病院の理学療法士、川崎桂さんも「軽快に音頭を取ってもらえるので、利用者も楽しく取り組んでいる。ディスプレイなどリハビリの専門スタッフが少ないところでぜひ使ってほしい」と話している。

問い合わせはメディア出版(06・6398・5039)。